

年 組 名前:

問1

怪獣「ネッシー」は、どこにいますか。

言い伝えられていますか。

・国名:

・場所:

問2

ネッシーの検索は、船とドローンで、

どのように検索しましたか。

・船
.....
.....

・ドローン
.....
.....

ネッシー大搜索

スコットランドで半世紀ぶり

【インバネス（英北部）共同】

英北部スコットランドのネス湖にすむと言い伝えられる怪獣「ネッシー」を確認しようと、愛好家の調査グループが26日、国内外のボランティアと共に約50年ぶりの大規模搜索に乗り出した。2日間

ドローンや水中聴音器 駆使

の日程。空や水上、湖畔から追跡し、怪獣伝説に迫る。

雨が降り湖面が霧で覆われる中、ネッシーが出す音を拾うため

の水中聴音器を載せた船が出発した。空からはドローンに搭載した赤外線カメラで水面近くにネッシーが潜んでいないか探索する。

ボランティニアは「モンスターハンター」の称号を与えられ、湖畔から双眼鏡や望遠鏡で水面に目を凝らした。

搜索は、別の団体が1972年に実施して以来の規模。ネス湖の自然を研究していたグループが、ネッシーについて展示している観光施設から協力を依頼された。リーダーのアラン・マッケーナさん(36)は「子どものころからネッシー

が大好きだったから、迷わず引き受けた。いるかもしれないと考えるのが楽しい」と目を輝かす。

観光施設によると、初期の目撃情報は中世にさかのぼる。聖人がネス湖につながる川で「怪獣」を見たという。脚光を浴びたのは33年。ネス湖に臨むホテルの幹部が「怪獣を見た」と恐怖におのいた

ことが地元の新聞に掲載された。翌34年に撮影された恐竜に見えるシルエットが世界的に有名となったが、約60年後に模倣を使ったトリックだったと明らかになった。

2018〜19年に国際研究チームが湖のDNA残留物を分析。正体不明な生物がいる証拠は見つからなかったが、「巨大ウナギ」が生息する可能性がある」と発表した。

(2023年8月27日付 山梨日日新聞 21面)

問3

搜索するボランティニアは、なんという称号が与えられましたか。

.....

問4

近年に行われたDNA残留物の分析では、どのような結果が出ましたか。

.....